

地域の交流の輪広がった!

第5回市民活動交流まつり



おしゃべり広場「くるま座」



折り鶴が幻想的な灯ろうの小路を飾りました

「つながる、ひろがる、メイトム春まつり」をキャッチフレーズに、メイトム宗像で3月1日と同2日の2日間「第5回市民活動交流まつり」を開催しました。57の参加団体が一緒に作り上げた祭りです。

「魅力的な活動のための講演と世代間交流のくるま座」
1日目のスタートとなった基調講演は、特定非営利活動法人「KIDS WORK」代表の大久保大助さんの「魅力ある活動のために」。「市民活動とは、自分たちの社会を自分たちでつくること。協働事業では、行政と団体だけではなく、専門家や若者、他の団体との新たなつながりをつくること

「ささまざまな意見に触れるいいチャンスが得られた」と前向きな感想が多く聞かれました。
4000本の灯ろう・雨の明かり路
1日目の夜は、4000本の灯ろうに明かりを灯しました。小雨に見舞われながらも、折り鶴やLEDライトをオブジェに加えた、幻想的な灯ろうの小路となりました。同時時間帯にオカリナ演奏やクラシックコンサートも開催され、灯ろうの明かりとともに心地よい空間をつくりました。

その後、交流まつりの伝統行事「くるま座」では、「おしゃべり広場」と題して、20の小グループに分かれ、市のまちづくりについて意見を出し合いました。世代や背景が異なる人々と交わし合う言葉や思いが会場に溢

2日目は、9つの舞台発表と41のブース出店。華やかな和太鼓やマジックショー、朗読や音楽など、5時間におよぶステージでは、参加者のいきいきとした笑顔が輝

きました。各団体のブースでは、趣向を凝らした食バザーや手作り物品の販売、活動展示などがありました。ポニーとの触れ合いやバルーンアートコーナーなどは、子どもたちの笑顔がいっぱいでした。

「市民活動団体やコミュニティ運営協議会の活動を広く知ってもらい、団体同士の交流を深めること」を目的に掲げて5年。今年は「灯ろう出前講座」をコミセンや学校で実施するなど、新たな取り組みが始まり、交流の輪が地域へ広がる祭りとなりました。

「思ったよりも重い、そなた。生徒たちは、この妊婦してかわい。自分もお母さんの愛情をこんなふうに受けて育ててもらったのだと感じました」と笑顔で話してくれました

「市市民活動団体やコミュニティ運営協議会の活動を広く知ってもらい、団体同士の交流を深めること」を目的に掲げて5年。今年は「灯ろう出前講座」をコミセンや学校で実施するなど、新たな取り組みが始まり、交流の輪が地域へ広がる祭りとなりました。

玄海ジュニアラグビークラブ

全国大会に出場

兵庫県神戸市の神戸ユニバ記念競技場で2月22日と同24日、ちびっこラグビーの日本一を競う「第6回ヒーローズカップ」が開かれ、「玄海ジュニアラグビークラブ」の小学6年生チームが九州代表として出場しました。同チームは、昨年11月に長崎で開かれた九州大会でブロック優勝し、大会への切符を手に入れました。

全国大会の予選リーグは1勝1敗、予選2位グループの「プレートトーナメント」でも1勝1敗で、プレート3位・総合7位（12チーム中）という結果でした。

2敗はいずれも1トライ差でした。悔しさとともに、自分たちの力が全国でも十分に通じるという自信も得た大会でした。

キャプテンの森山雄太くん(東郷小6年)は、「全国の強豪と戦えて良い経験になりました。何より、楽しかったです」と笑顔で話していました。

問い合わせ先 玄海ジュニアラグビークラブ(橘) ☎090(5942)6204



大会で自信も得てチームみんな笑顔



果敢にアタックする森山くん(右から2人目)